



## 住民の安全・安心を守るため

### 小野町消防団防災訓練

小野町消防団防災訓練が昨年12月11日、町民体育館で行われました。

今回の訓練では、さまざまな災害状況に対応する現場指揮力の強化を目的とした「図上訓練」と、消防アシストアプリ「S.A.F.E.」の運用訓練、住宅火災における延焼メカニズムを研修する「ファイヤーコントロールボックス燃焼実験」などが行われ、参加した団員からは「さまざまな災害に対し、迅速な現場指揮が行えるよう、日頃からの準備を大切にしたい」との声がありました。

今後も小野町消防団は、住民の安全・安心を守るため、一人ひとりが消防技術の維持・向上に努め、関係機関と連携した消防団活動が行えるよう、日々鍛錬を続けていきます。

#### － 消防アシストアプリ「S.A.F.E.」とは？ －

消防団活動時(火災・災害対応など)における情報共有や事務作業の効率化を図ることを目的としたICTを活用した消防団の活動を支援するアプリです。プッシュ通知による火災発生のお知らせ・団員の出勤状況の把握・周辺水利の表示といった機能のほか、行方不明者捜索・水防団の出勤要請などのメッセージ配信も行うことができます。

現在、県内11市町村で当アプリが導入されており、小野町では昨年10月1日から消防団員や消防関係機関の方々の間で運用を開始しています。



図上訓練の様子



ファイヤーコントロールボックス  
燃焼実験の様子

## 飯豊ひまわり保育園 キジを放鳥

福島県猟友会小野支部(吉田孝支部長)によるキジの放鳥が昨年11月4日、飯豊ひまわり保育園で行われました。

この放鳥は、福島県猟友会の取り組みで、20年以上の歴史があるものです。

放鳥に際し吉田支部長からあいさつがあり、園児が実際にキジに触れ、その後放鳥されたキジは園児たちが見守る中、勢いよく大空へと飛び立ちました。

手を振って見送った園児からは「初めて見た」「かわかった」などの声が聞かれました。

